

東北コットンプロジェクト！

宮城県沿岸部の一部では東日本大震災の津波被害を受け、稲作栽培が困難になってしまいました。その土地で塩に強いとされる「綿花」を栽培し、衣服などを商品化する「東北コットンプロジェクト」が始まっています。

当社では、「東北コットンプロジェクト」で栽培された綿(コットン)の茎から採った繊維と森林認証パルプを原料とした、「東北コットン名刺用紙」を取り扱っており、名刺のご注文の際、1箱500円の追加料金をいただければ、この用紙で名刺をお作りしています。印字サンプルもごさいますので、ご興味がある方はお声がけください。



「Eco列車でいこう！」～第106回～ 福島へ桜を見に行く！

(CO2排出量の少ない交通機関での旅行を応援していくコーナーです！)



新潟駅8:25発の快速「あがの」で出発。あいにくの空模様で行楽客は少なく、3両編成の車内はすいている。のんびりと車窓を眺めながら食べる、焼きたてパンとコーヒーの朝食がおいしい。

「荻川」を過ぎたあたりから雪が降ってきた。今年は例年になく桜の開花が早かったが、今日は非常に寒い日である。福島県に入り、少し天候が回復。雪は曇りに変わる。「喜多方」では雪の車窓にはしゃいでいた台湾からの観光客が下車した。会津盆地に入り、桜の木が多くみられるがこの辺りは三分咲き程度のような。

10:43「会津若松」着。隣の番線に豪華列車「四季島」が停車していた。食堂車を覗いてみると、ピカピカに磨き上げられたグラスや整然と並べられた食器類が見えた。いつかは乗りたい列車だ。

「中山宿」という峠の駅を過ぎると「会津」から「中通り」と呼ばれる地域に入る。それとほぼ同時に曇りから晴れに変わった。途中、「喜久田」という駅で桜並木が見えたので途中下車。新発田市の加治川に似た見事な桜並木だ。途中で茶屋があったので、「学生時代に修学旅行で新潟市に行き、初めてエスカレーターに乗った」というお爺さんの昔話を聞きながら、生ビールを飲み、みそおでんを食べた。

「郡山」から磐越東線に乗り換え13:28「三春」着。三春町は戦国武将田村氏の城下町で、町内に2000本の枝垂桜が植えられているという。その枝垂桜の代表であり、日本三大桜の一つである「滝桜」へ向かう。

満員のシャトルバスに揺られること約20分で滝桜入口の停留所に到着した。多くの観光バスが停まり、マイカー客も多い。食べ物や土産物の屋台が出て、大いににぎわっている。

坂道を5分ほど登っていくと「滝桜」が見えてくる。

推定樹齢1000年以上。斜面に咲き誇る満開の「滝桜」は「圧巻」の一言だ。桜の周りは遊歩道になっていて、「滝桜」を見上げることも、見下ろすこともできる。存分に滝桜を満喫していると帰りのバスの時間が迫ってきた。何度も振り返り、その美しい姿を目に焼き付けながら急いでバス停に戻った。

ちなみに、高速道路を利用すれば、新潟市から2時間半で到着できる。ぜひ一度訪れていただきたい、すばらしい一本桜である。

(写真左:藤田川の桜)
(写真右:三春滝桜)



【4月8日(日)】

新	湊	8:25
会	津 若 松	10:43
		11:08
喜	久 田	12:04
		13:02
郡	山	13:11
		13:17
三	春	13:29
		16:08
郡	山	16:21
		16:37
会	津 若 松	17:54
		18:34
新	津	20:57
		21:08
新	湊	21:29